

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
発達心理学		(理.作) 選択 (福.人) 必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>生涯発達の観点に立ち、発達心理学の諸理論に基づいた基礎的な理論及び各発達課題、心理的問題などについて学ぶことを目的とする。乳幼児期から高齢期まで各発達段階特有の身体的・心理的特徴を理解し、考察することを目的とする。また専門職に求められている人を尊重する基本的な態度や多様な知識について学び理解することを目的とする。</p> <p><概要>各発達理論について講義し、各自のワークやグループワークなどを交えながら理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	人の成長・発達の過程を学ぶことは人を理解するための基本である。 自分自身や身近な人をイメージしながら積極的に授業へ参加することが望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践 第12巻 発達心理学/監修:野島一彦 他/編:本郷一夫/遠見書房 問いからはじめる発達心理学/著:坂上裕子 他/有斐閣ストゥディア				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人を尊重し深く理解しようとする態度を身につけることができる。			HSU(1)、HC(1)、(3)	
②	発達心理学の諸理論及び各発達段階における特徴を理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)	
③	各発達段階における人間関係の基本的な知識について理解し、説明できる。			HC(5)	
④	社会の変化によって生まれるさまざまな課題について理解し、考察できる。			HC(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	発達の過程と変化のメカニズムについて学習する。	講義・演習	授業内容を復習し、課された課題を完成させる。	4	
2	新生児期・乳児期の知覚・認知の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
3	言語・コミュニケーションの発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
4	知能の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
5	運動の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
6	感情の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
7	気質と性格の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
8	遊びの発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
9	親子関係の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
10	仲間関係・きょうだい関係の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
11	自己の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
12	発達障害と非典型発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
13	青年期の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
14	成人期・高齢期の発達について学習する。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
15	これまでの学習の総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	20	0	0	0	5	25
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	10	30
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ知識の理解及び授業内容に関する自分の意見を述べた上で、考察を行う問題を出題し、評価する。			後日試験の総評を掲示し、必要に応じて個別に解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションレポートの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述する。			次回の講義の初めに、前回のリアクションレポートについてコメントし解説する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		<p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>					